



National Institute of Technology, Hiroshima College Library

図書館だより

第59号 令和6年7月31日

独立行政法人国立高等専門学校機構

広島商船高等専門学校



目次

巻頭言	○読書はなぜ大切なのか?..... 図書館長 澤田 大吾 [2]
寄稿 教職員	
	○私の書いた本..... 校長 逸見 真 [3]
	○美醜..... 流通情報工学科 藤井 成弥 [4]
	○「今からできる自己投資」～あなたはなぜ挨拶をするのでしょうか～ 一般教科 松本 茂 [5]
トピックス	活動報告・編集後記..... 図書係 [6]

昨年読んだ本の中でとても興味深かったのが、齋藤孝氏の『読書をする人だけがたどり着ける場所』(SB クリエイティブ)という本でした。

この本はおそらく学生の皆さんにあたる年齢層を想定して書かれたものだと思います。少し内容を紹介したいと思いますが、具体的な内容は、是非みなさんが読んでみてください。

齋藤孝氏は、明治大学文学部教授で、文化として多くのメディアに出ておられる方です。齋藤氏は、この本の冒頭部分で「現代の若者は読書をする時間がない」「読書のかわりにネットで情報を得ている」などと書き出して、「1日の読書時間ゼロの大学生が過半数を超えた」と訴えます。

齋藤氏は「ネットで情報を得ること」「読書」の違いは「(情報の)向かい方」の違いだと言います。ネットで何かを読むという時は、そのコンテンツにじっくり読むのではなくて、パパッと短時間で情報を得て次に向かうが、読書はじっくり深くまで情報を得ることができると言います。さらに、読書をすることで人生観や人間観を深めて想像力を豊かにして人格を大きくすることができると言います。ちょっと飛躍し過ぎのような気がしますが。

そして「読書の必要性」について齋藤氏は述べています。現代の人間はネットの情報に溢れている。しかしスマホをずーと触っているわりには重要な情報を得ていないのではないのかと疑います。また「インターネットの海」という

言葉があるが、ほとんどの人が浅瀬で貝殻を取っているようなもの。深いところへ潜りにいく人はあまりいない。もぐればまだ見たことのない深海魚が出会えるかもしれないし、まだ見たことがない世界が広がっているのに。同じ海を前にして人によってやることは異なると述べています。「ネットの情報」と「読書」の違いをわけました。

そして読書は人に「深さ」をつくるとも述べています。この深さは一つのことをつきつめた深さではない。専門分野に詳しいからといって、他がまったくダメというならバランスを欠いてダメだと。深さは全人格的なもの総合的なものとだとも言います。専門分野に詳しいのは当然だが、そのバックグラウンドとして一般教養があるべきだとも言います。専門分野の知識があっても、その知識を活かす上では、多角的な視点がないと判断することは難しい。だからますます一般教養が重要な時代になっているのに、本を読んでいるのはおかしいのではないのかと齋藤氏は疑問を呈します。

ネットやSNSを否定するのではないが、完全に軸足をネットに移してしまうと、読書の喜びを味わえないのはもったいないのではないのかと訴えます。

本を読み、自分の中に取り入れて深い教養を得ることができれば、豊かな人格形成をすることができるのではないのかというのが齋藤孝氏の「読書をする人だけがたどり着ける場所」の前半部分のお話です。是非、この続きを自分で読んでみて下さい。



『読書をする人だけがたどり着ける場所』

齋藤 孝 著

◆◆◆ 寄稿 - 教職員 - ◆◆◆

私の書いた本

このコラムでは書き手が実際に読んでみて感動した本の中から、学生の皆さんにお薦めしたいものについて教示するべきですが、ここでは私がこれまでに書いた本を紹介することにします。何れも自身のキャリアをベースとして私なりに渾身を込めて上梓したものであり、内容に特段の遜色はないと考えます。ただ読書は読み手の興味あつてのものだから、私の本と同様に気が向いたら手に取って下さい(ちなみに何れの書籍も本校図書館に寄贈しています)。

1. 『船長職の諸相』(262 ページ、2018 年 3 月 30 日刊行、山縣記念財団): 私を含め船長経験を持つ 5 名の研究者による共著です。内容として乗組員への供食管理、帆船の種類と帆走理論、シーマンシップの理論と実際、咸臨丸の太平洋横断に関わった幕末の偉人にまつわる話、船舶における国際法・国内法及び法的諸問題と、それぞれの著者が自身の経験と見識、専門分野からの知見について解りやすくまとめています。
2. 『船長論—引き継がれる海の精神』(360 ページ、2018 年 9 月 30 日刊行、海文堂出版): 主として若手の船長または船長、航海士を目指す学生向けの本として上梓しました。東京海洋大学では講義の教科書として利用していました。ヨーロッパを中心とした船長の歴史から始まり、そ



校長 逸見 真

の指揮管理のあり方や船長を養成する教育、船長が関係する法と海難事故への対応、一般的な船長気質及び精神の形成と続き、最後に女性船長、自動化船の登場等、今後を展望で締めくくった、いわば船長の精神論です。

3. 『船長のための海洋関係法—海洋の自由と法秩序』(386 ページ、2023 年 9 月 30

日刊行、海文堂出版) 純粋な法律の本となりますが、類似の法律学の書籍と異なるところは、本書が「船長のために」という表題で出されているところにあります。初めに船長と船員の法的な地位について概説した後、領海、公海、排他的経済水域他の海域区分、旗国、沿岸国、寄港国それぞれの海域により異なる国家管轄権の適用と、いわゆる海洋法について国連海洋法条約の条文に即して解説した他、海洋環境の保護、海難救助を船員の使命と銘打ち論じる中で、第一に本書を読む船長、船員が実務を通して理解できる法律論として書き上げました。皆さんにとり 1 と 2 は面白く読み進めてもらえるものの、実務者を

対象とした 3 についての理解は若干、難ありかも知れません。

以上、簡単に私の著した書籍について紹介しました。もし読んでくれた学生がいたら、読後の感想を教えてください。

3割0分4厘、これは大谷翔平の昨シーズンの打率。1割2分0厘、これは私の人生における打率（告白成功割合）である。メジャーリーグの怪物たちを相手にこんな大記録を残している大谷翔平に対して、私は一般人を相手にこれだけの記録しか残せていない。もちろん打率の中身が異なるため、比較が成立しない点は承知の上である。

ところで、ある人の所得にその人の外見が影響を与えることはあるのだろうか。外見の良し悪しが影響する先はいろいろと考えられる。上述の打率はこの一例であり、したがって私の打率は低い。また、容姿が所得に正の影響を与えるのならば、私のこれからは明るくない。そんな危機感から、容姿による所得格差について調べていたとき、『美貌格差-生まれつき不平等の経済学』という受け入れがたいタイトルの訳書を見つけた。原書は『Daniel S. Hamermesh. (2011) Beauty pays: Why Attractive People Are More Successful. Princeton University Press.』であり、美貌と所得の因果関係について記されている。醜い私は当然、高所得の人は美容にお金を費やすことができるため、高所得の人は美しいのではないのか、つまり因果関係が逆ではないのかという批判とともに読み始めたが、読み終えたときそれは美しく消えていた。



日常は複雑に絡み合った因果と相関からできている。ある興味深い結果に対してその原因を推測すれば、相反する推測で批判される。ゆえに、自身の主張を通すためには、あらゆる側面からの根拠を提示することが必要だ。また、絡まった糸の一部を解いても、全体の纏れが解消されないように、課題は次から次へと派生する。批判が美しく消えたのはこれらについて余すところなく記されていたからだろう。

私は低打率、低所得を通じて、自身の醜さを認識させられた。しかし、今までの美しくなろうと努力した自分を無駄とは思わず、美しくあろうと醜く藻掻く。本校の助教になる以前、どんな教員が理想的か、美しい像を考えたことがある。その結果、私は「研究成果を学生にも還元できる教員」に

なりたい。ある日の師との会話で、この像が効率的で美しいと気づかされたからだ。くわえて、同じことを何回も繰り返し喋る授業、参考書のコピーアンドペースト授業、努力を否定される授業などは、すべて私の美学に反する。しかしながら、この主張を成し遂げる（通す）ためには、あらゆる実績（根拠）を築き、示さなければならず、課題も山積みだ。

醜い私でもいつかは美しくなれるだろうか。そう思い今日も醜く美しさを求め生きる。

『美貌格差 -生まれつき不平等の経済学-』
ダニエル・S. ハマーメッシュ 著

「今からできる自己投資」～あなたはなぜ挨拶をするのでしょうか～

一般教科 松本 茂

自己紹介ができていない学生の皆さん、初めまして。一般教科(保健体育・スポーツ)を担当しています、松本茂です。前任校は広島大学附属中高に7年、その前はパーソナルトレーナーを4年というちょっと変わった経歴を引っ提げ、広島商船高専に着任しました。陸上競技が大好きで、選手復帰を密かに狙っています。趣味は「投資」、そして価値観の合う仲間とワイワイする事です。ちょっと長くなりましたがこの度、書籍を紹介する機会を頂きましたので、1冊簡単に紹介させていただきます。

紹介するのはパーソナルトレーナー時代に出会った「リッツ・カールトン一瞬で心が通う『言葉がけ』の習慣」という書籍です。本書は、リッツ・カールトンのサービス哲学に基づいた「言葉がけ」の技術を紹介する本ですが、単に言葉を選ぶことの重要性だけでなく、言葉を通じて心を通わせるための具体的なアプローチや実践方法を提示してくれています。本書の素晴らしい点は、実際の現場で使われている具体的な事例が豊富に紹介されているところにあります。これにより、理論だけでなく実際のシチュエーションでどのように言葉を使えばよいか明確に理解できます。また、リッツ・カールトンのホスピタリティの本質に触れることで、人生の質を向上させるためのヒントを多く得ることができました。

特に印象に残ったのは、「お客様に対してどのような言葉を使うか」が、単なるサービスの質を超えて、企業のブランド価値や信頼性に直結するという点です。言葉は相手に対す

る敬意や思いやりを示す重要な手段であり、それが顧客満足度を高める大きな要素となります。本書を通じて学べる「言葉がけ」の習慣は、日常生活や他の職場環境でも応用可能です。相手を尊重し、心のこもったコミュニケーションを心掛けることで、信頼関係の構築がスムーズになることを実感しました。実際にトレーナー時代、日に日に指名が増えていったのを今でも覚えています。きっと何かが変わっていったのでしょうか。

全体として、「リッツ・カールトン一瞬で心が通う『言葉がけ』の習慣」は、サービス業に限らず、コミュニケーションを重視するすべての人にとって非常に価値のある一冊です。リッツ・カールトンの優れたサービス哲学を学び、それを自分の職場や生活に取り入れることで、より良い人間関係を築くための大きな助けとなるでしょう。

最後に。読書は「投資」。投資とは利益を見込んで資産を増やす行為で投資とは一線を画すものです。資産には人的資本、社会資本、経済資本があります。どれが欠けても幸せになりにくいものです。極論、私は価値観の合う仲間とワイワイするために生きて(投資して)いるのだと信じていて、より価値観の合う仲間とワイワイする手段として読書も選択肢の一つだと考えています。それはいろんな価値観に触れることができたり、自分にとって大切な価値観や大切な何かを再確認できるからです。皆さんも自分に投資(読書)してみたいかでしょうか。

素敵な書籍との出会いで人生がより豊かになっていくことに期待して。



『リッツ・カールトン一瞬で心が通う『言葉がけ』の習慣』
高野 登 著

トピックス

図書館には貴重な古い資料や書籍などを保管するための部屋、書庫があります。普段は生徒のみなさんの目の届かないところにありますが、もちろんほとんどの本を貸出することができます。一部の本はスペース不足ですぐに利用できる状態ではありませんでしたが、ついに昨年度ようやく大型の移動式本棚を購入することができ、日々本を掘り起こし、選別し、磨き、皆さんに公開できるように準備しています。広島商船高等専門学校は今年で創立125年という長い歴史があります。そのあゆみとともに書籍や資料なども増えていきました。図書館内では最新の情報をお届けし、書庫では貴重な資料や古いけれど研究の材料になるような大切な情報を保管し、生徒のみなさんや教職員・研究者のお役に立てる図書館を目指していきます。



新しい保管用本棚



+++++夏休みにプラスひとつ+++++

なかなか本を読んで新しいことを取り入れる、ページをめくって物語を楽しむ、ということは減ってきているのではないのでしょうか。日頃本を読む習慣がない人も、夏休みに本を読む時間を作ってみませんか？図書館ではすきま時間でもサクサク読めてしまいそうな、気持ちや感覚がすっきりしそうな本をチョイスして展示してみましたので、ぜひ手に取ってみてください。また、学習に関する本などでも、難しくとらえず、一日1ページ読むと1ページ分の知識が自分の中に取り込める、昨日より1つ物知りになった！知識が広がった！そんな気持ちで読むと本を読むということを楽しめ世界が広がるのではないのでしょうか。

編集後記



- ◆ 新任の先生方3名よりおすすめ本や読書についてご紹介いただきました。ご協力ありがとうございました。後日推薦図書として展示させていただきます。
- ◆ 今後も、読書や図書館利用の促進を目的とした記事や学生や教職員の皆様の発表の場として、「図書館だより」を発行して参ります。こんな本が読みたいなど、ご要望があれば随時受け付けていますので図書館職員にご相談ください。引き続きどうぞよろしく願いいたします。
- ◆ 編集発行：図書委員会(令和6年度)：澤田大吾(図書館長・一般教科) 清田耕司(商船学科)・風呂本武典(流通情報工学科)・後藤田和(一般教科) 山下泰史(電子制御工学科)
- ◆ 〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272-1 / TEL:0846-67-3007
- ◆ ホームページ：<https://www.hiroshima-cmt.ac.jp/facility/lib.html>